

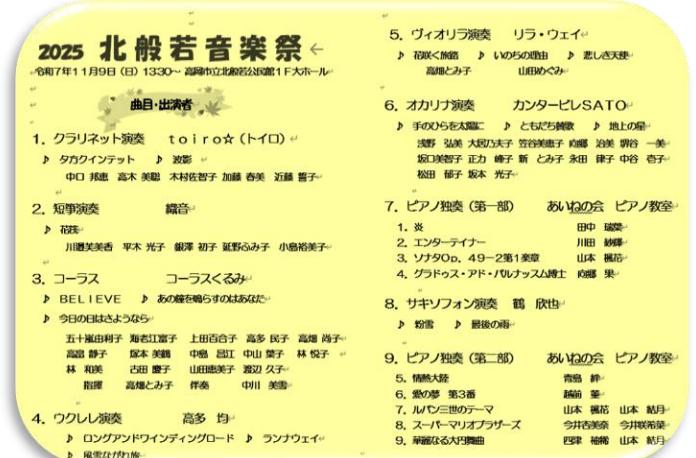
北般若だより

2025年(令和7年)12月1日
第345号
北般若自治振興会
北般若公民館

北般若に音楽の風

11/9(日曜日)北般若公民館で「北般若音楽祭」を開催しました。「北般若音楽祭」は北般若地区のみなさんが出演、主役の音楽祭です。公民館では毎年文化祭と音楽祭を交互で開催しています。

日曜日の午後のひと時、アットホームな雰囲気で楽しく過ごしてくださいとお茶も準備し、進行を進めました。



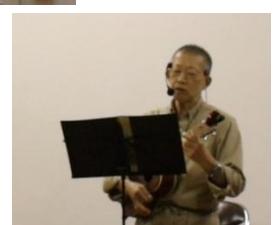
オリラ・オカリナ・サキソフォン・可愛いピアニストの演奏・コーラスなど、数々の楽器や演奏を楽しむことのできる至福の時間。



観客は演奏にしばし酔いしれ、演奏者は日頃の練習成果を発揮。ステージごとに盛大な拍手が送られ、可愛いピアニストたちが奏でる演奏にも大きな拍手で盛り上がり音楽祭を締め括ることが出来ました。 青島幸子

『北般若だより』へのご連絡・投稿・写真をお待ちしています。

この時、この空間は、クライネット・箏・ウクレレ・ヴィ



音楽を楽しみながら地域住民の交流が花咲き、北般若が“音のある風景”に代わりました。

記念イベントとして、60年の思い出スライドショー、メッセージの呼びかけを元気よく行い、「創校記念の歌」を、源 紡希さん(西部金屋)、「夢の世界を」は青島 純さん(大清水)が合唱の伴奏をつとめた。マジックショーの披露もあり思い出深い式典となった。

今回、演台の後方に国宝「紅白梅図屏風(尾形光琳作)」が飾られ式典に華が添えられた。

高岡市立戸出東部小学校の創校60周年記念式典が11月22日、同校において催された。

式典では、児童(212名)や地域住民関係者が出席するなか越田真佐美校長が「昭和41年の創校以来、60年の歩みを重ね、今日の節目を迎えることができました」と感謝の式辞を述べた。続いて山本睦男記念事業実行委員長、近藤智久市教育委員会教育長の祝辞の後、全員で校歌を合唱した。

記念イベントとして、60年の思い出スライドショー、メッセージの呼びかけを元気よく行い、「創校記念の歌」を、源 紡希さん(西部金屋)、「夢の世界を」は青島 純さん(大清水)が合唱の伴奏をつとめた。マジックショーの披露もあり思い出深い式典となった。

今回、演台の後方に国宝「紅白梅図屏風(尾形光琳作)」が飾られ式典に華が添えられた。

観客は演奏にしばし酔いしれ、演奏者は日頃の練習成果を発揮。ステージごとに盛大な拍手が送られ、可愛いピアニストたちが奏でる演奏にも大きな拍手で盛り上がり音楽祭を締め括ることが出来ました。 青島幸子

『地域バス』の実証運行始まる

高岡市では5地区で本格運行されているが、戸出地区でも年初の住民アンケートを踏まえて、国交省へ実証事業を申請し認可を受けた。「戸出地区自治会連絡協議会」において、地域交通の整備は将来に向けての重要課題として捉え、来年度の地域バスの本格運用を目指に、10月北般若地域で実証実験の運行を行うことを決めた。

・運行期間 12/1～1/31 の2ヶ月

年末年始除く平日



・運行要領 北般若を南北に6つの停留場を設け5つの市街地ルートを午前に上りと下りを2便、午後に下り1便を7運行する(各JR戸出駅の高岡砺波方面を考慮)

・運賃は無料(実証期間中)地域でこの仕組みを構築するものであり、住民が実際に参画し利用しての意見に成否がかかる。市民協働型交通検討メンバー

戸出東部小学校 60周年記念式典



この時、この空間は、クライネット・箏・ウクレレ・ヴィ

高岡市立戸出東部小学校の創校60周年記念式典が11月22日、同校において催された。

式典では、児童(212名)や地域住民関係者が出席するなか越田真佐美校長が「昭和41年の創校以来、60年の歩みを重ね、今日の節目を迎えることができました」と感謝の式辞を述べた。続いて山本睦男記念事業実行委員長、近藤智久市教育委員会教育長の祝辞の後、全員で校歌を合唱した。

記念イベントとして、60年の思い出スライドショー、メッセージの呼びかけを元気よく行い、「創校記念の歌」を、源 紡希さん(西部金屋)、「夢の世界を」は青島 純さん(大清水)が合唱の伴奏をつとめた。マジックショーの披露もあり思い出深い式典となった。

今回、演台の後方に国宝「紅白梅図屏風(尾形光琳作)」が飾られ式典に華が添えられた。

観客は演奏にしばし酔いしれ、演奏者は日頃の練習成果を発揮。ステージごとに盛大な拍手が送られ、可愛いピアニストたちが奏でる演奏にも大きな拍手で盛り上がり音楽祭を締め括ることが出来ました。 青島幸子

正しく怖がろうクマの被害

大井 徹 氏(石川県立大学特任教授)

東北地方では、ドングリ類が凶作のため、たくさんのクマがエサを求めて人里に出没し、人身被害が増加しています。クマが狂暴化しているという言説も流布し、人々はクマに過敏になっています。

事故の状況を見てみると、ほとんどの事故は、出遭いがしらか、人里にエサ目当てで侵入したクマがパニックになって目の前に出てきた人間を攻撃したもので、クマが攻撃的になるような状況が増えているだけで、狂暴になっているわけではないようです。別の見方をすれば、そうした状況を避けねばクマの被害は防げるということになります。いたずらに恐れることはありません。

富山県でも今年の秋はドングリ類が凶作で、たくさんのクマが出没しています。人身被害も南砺市で2件、立山町で2件発生しました。北般若地区で出没はあるでしょうか。思い出してください。2021年5月、高岡高校の敷地でクマが捕獲されました。2024年5月、戸出大清水の交差点でクマが目撃されました。いずれも、庄川沿いに河川敷を下ってきたクマです。クマが山から遠く離れた場所に出没する場合は、河川が移動経路になっている場合が多いです。庄川沿いの北般若地区にクマが出没する可能性は十分あります。

クマによる事故防止をする秘訣は、引き付けない、至近距離で出遭わないことです。クマを引き付けるのはエサになるものです。クマに来てほしくないところには、クマのエサになるもの、例えば、庭先に実っているカキの実、生ごみ、ペットフード、米ぬかを放置しないことが必要です。至近距離で出遭わなければ、クマが潜むことのできる藪を刈りはらって見通しをよくしておく必要があります。砺波平野の農家にはほとんど必ずカキが植えてあり、クマが潜むことのできる屋敷林がつきものです。十分注意が必要です。付近で出没情報があったら、夕方から早朝にかけて外出を控えるとともに、住宅、倉庫、車庫にクマが入り込まれないよう戸締りを厳重にしておく必要があります。

【筆者プロフィール】高岡市戸出町出身・在住。67歳。日本のクマ研究における第一人者であり、特にツキノワグマの生態と人里への出没メカニズムに関する研究で知られ、テレビ情報番組に多数出演。

石代のつどい

11月9日(日)午前11時より「石代のつどい」が開催された。昨年に引き続き「災害時の対策・対応」について本年は「ローリングストック」をテーマとした。

ローリングストックとは、日常生活用品を普段から少し

多めに購入し、使った分だけ補充しながら備蓄していく方法である。今回は非常食・保存食の「急速乾燥させたアルファ米(レトルトパック)」「缶入り即席麺」「パンの缶詰(1缶2コ入り)」その他スパゲッティ、单品総菜、羊羹等、手作りの豚汁・シチューを試食してもらった。何れもお湯を注いで10～15分で完成し、3～6年保



開封後の様子

存できる。試食した会員は、「思ったより美味しかった」「手軽に出来るんだね」「これなら買い置きしても良いね」「非常時なら良いが、平時は食べたくないね」等、様々な意見が出していました。「転ばぬ先の杖」、皆さんもそろそろ準備されてはいかがでしょうか? 井林秀文

門松 12/27・赤唐辛子つるし飾り 12/18

【門松づくり講座】12月27日(土)9:30～北般若公民館にて講座を開催いたします。

詳細は、別紙配布チラシにて確認。必要事項をご記入の上お申し込みください。

【赤唐辛子つるしかざり講座】12月18日(木)

今年、公民館ではバケツによる稲作づくりを行いました。今回収穫した稲わらを使い

“厄除け吊るし飾り”を作ります。同日開催の「なのはな元気教室」クリスマス会の10時30分から。興味のある方の参加、お問い合わせをお待ちしています。

北般若地区等の動き

12/1 市民協働型地域バス実証運行開始

12/18 なのはな元気教室(クリスマス会)

12/27 門松づくり



TEL/FAX: 63-5304

e-mail: tk27-kth@p2.tcn.net.jp